

⑫ 公開実用新案公報 (U)

平 1-168864

⑤ Int. Cl. 4

G 01 N 27/46
27/58

識別記号

3 2 7

庁内整理番号

7363-2G
B-7363-2G

⑬ 公開 平成 1 年 (1989) 11 月 28 日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全 2 頁)

⑭ 考案の名称 酸素濃度検出器の取付構造

⑰ 実 願 昭 63-66593

⑱ 出 願 昭 63 (1988) 5 月 19 日

⑲ 考 案 者 豊 田 泰 弘 埼玉県和光市中央 1 丁目 4 番 1 号 株式会社本田技術研究所内

⑲ 考 案 者 堀 内 晴 夫 埼玉県和光市中央 1 丁目 4 番 1 号 株式会社本田技術研究所内

⑲ 考 案 者 加 藤 彰 埼玉県和光市中央 1 丁目 4 番 1 号 株式会社本田技術研究所内

⑳ 出 願 人 本田技研工業株式会社 東京都港区南青山 2 丁目 1 番 1 号

㉑ 代 理 人 弁理士 渡部 敏彦

㉒ 実用新案登録請求の範囲

1 酸素イオン伝導性の固体電解質壁部を有し且つ気体拡散制御手段を介して外部に連通する気体拡散室を形成する基体と、前記固体電解質壁部の内外壁面上にこれを挟んで対向するように設けられた 2 つの電極対と、前記 2 つの電極対の一方の電極対間の電圧と基準電圧との差電圧に応じた電圧を他方の電極対間に印加する電圧印加手段とを含み、前記他方の電極対間に流れる電流を酸素濃度検出値として出力する酸素濃度検出器を、エンジンの排気系に配置された触媒装置に設けたことを特徴とする酸素濃度検出器の取付構造。

2 酸素イオン伝導性の固体電解質壁部を有し且つ気体拡散制御手段を介して外部に連通する気体拡散室を形成する基体と、前記固体電解質壁部の内外壁面上にこれを挟んで対向するように設けられた 2 つの電極対と、前記 2 つの電極対の一方の電極対間の電圧と基準電圧との差電圧

に応じた電圧を他方の電極対間に印加する電圧印加手段とを含み、前記他方の電極対間に流れる電流を酸素濃度検出値として出力する酸素濃度検出器を、エンジンの排気系に配置された触媒装置の下流側に設けたことを特徴とする酸素濃度検出器の取付構造。

図面の簡単な説明

図面は本考案の一実施例を示し、第 1 図は O₂ センサの取付構造を示す図、第 2 図は O₂ センサを含む空燃比制御装置の全体構成を示す図である。

1…内燃エンジン、3…排気管、4…三元触媒 (触媒装置)、5…O₂ センサ (酸素濃度検出器)、7…基体、9, 10…第 1、第 2 の壁部 (固体電解質壁部)、11…気体拡散室、12…連通孔 (気体拡散制御手段)、14 a, 14 b…一方の電極対、16 a, 16 b…他方の電極対、22…電圧印加回路 (電圧印加手段)。

